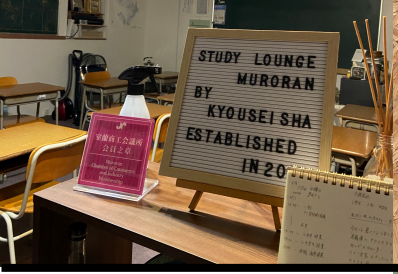


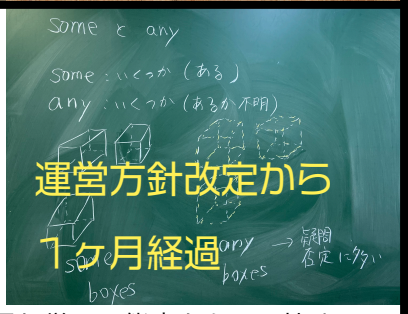
共生舎
教室だより

2020年10月12日号
発行人　髙橋　慎吾

新北海道スタイル

当教室も実践しております。宜しくお願い致します。

様々な意見の中で



運営方針改定から
1ヶ月経過

座席配置の変更、集中タイムの設定は、当教室の運営上最も大きな変更点でした。また、たくさんの塾生さんが、それぞれ多様な目的で集っている中で、自分だけ楽しければよいという言動に対しては、予告していた通り厳しい態度をもって接することにしました。

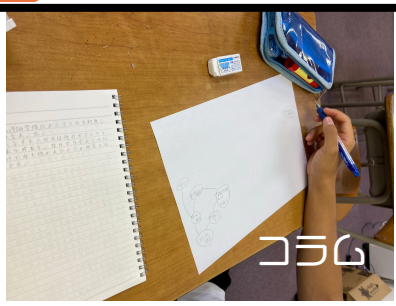
人数が増え、全体的な統制が今まで以上に必要になり、今まで自由に学ぶことができていた塾生さんには窮屈な思いをする場面もありました。その点について理解と協力を求めても、急激な変化だったためか、追いつけなかった部分もあったと思います。また、中には**家庭・学校・部活で、規律・しつけでがんじがらめになり、この教室でも規律を求められては、息が詰まってしまうという意見**もありました。

他方、いまの運営方針になって、**以前よりは教室全体としてよくなったという意見**もありました。規律・規範意識で息が詰まりそうな思いと、肩の力を抜きながらも学習の場であるという思いとの**バランス**が課題になります。

私としては、どの塾生さんにもある一人一人の個性を、できる限り最大限尊重したいと考えています。一人一人の思いにできるだけ耳を傾け、実現させたいと思っています。それは創業以来まったく変わりません。

どうしても学力＝成果に目が行きがちですが、学力を支えるのはまた、一人一人が安心して学べる環境や心の土台づくり＝課程です。**この１ヶ月は私も気を張ってしまって、そのバランスが歪になったと思いますので、ここからは私も自然体で臨機応変に運営したく思います。**ひとつは、集中タイムを「あくまでも目安」にすることがありますが、その他の方法も塾生さんの声を聞き柔軟に取り組みたいと思います。よろしくお願い致します。

やる気を支えるのは安心感



今回は私の反省から始めます。公私共々、気を張り詰める状況が続いてしまいました。ようやく少し見通しがついたことで、私自身の心の余裕も無くなってきたことに気づきました。

人間臭さだって学びだとはいえ、**私が力んでしまっていては、塾生さんにきゅうくつな思いをさせたり、要らぬ心配をかけたりして、「何でも話せる先生」ではなくなってしまったと思います。これではみなさんに合わせる顔がありません。恥ずべきことです。大変申し訳ございませんでした。**

中３生が入試を占う学力テスト、高３生の推薦入試などもあり、周囲に迷惑をかけないように、ということは必要になりますが、のびのびとした雰囲気の中で、自主判断を見守りながら必要に応じた指導を行うことも大切と考えます。それは、「セキュアベース」という考え方によるものです。

「セキュア」は「安心」、「ベース」は「基盤」を意味します。つまり、安心できる環境でこそ、能力が発揮できること、苦手も乗り越えていけるという考え方です。たとえばテストで伸びないのは、ある一定の得点を取らなければ努力不足だとして怒られるのではないか、そんな自分の姿がテスト中に浮かんできたりしませんか。

私もいま、原点に帰り、そんな学生さんの学びへのネガティブなイメージを、少しずつ和らげられるようにと改めて思います。**学びだけではなく、その先のやる気、生きる力への「セキュアベース」づくり、できることはなんでもしたいと思います。たあいのないこと、意見、不満、などなど。どんどんぶつけてきてください！**※私も同時に３人までの話を聞く能力がつきましたが、聖徳太子にはなれないので、お手伝いしてくれる方を探します！心当たりがあったら教えてください。詳細は別途…。

600本の花火で夏の締め括り

去る９月１１日（金）、輪西公園にて花火大会を実施しました。今年はコロナのせいで夏祭りがすべて中止となり、行事も余りできなかったこともあり、せめてもとたくさん花火を用意。

小２生から中２生まで、保護者さんも含めると、のべ約20名の方にご参加いただきました。下級生の花火に火をつける上級生の姿や、普段なかなか味わえない開放感にはしゃいだり、教室から道具を運搬するのを手伝ってくれりする姿など…私も普段は、なかなか見られない塾生さんの一面を見ることができて、楽しい機会になりました。

これからも、コロナに気をつけながら、楽しいイベントなどを企画していきたいと思います。企画の提案もお待ちしております！

学習指導要領改定を見据えた単元テストの増加に、コロナ禍が加わり。保護者様、学校の先生方も大変な思いをされていることと思います。そのご苦労を思うと、最大限の敬意を表せずにいられません。記事にも書きましたが、塾長の私にも、公私共々気を張り詰めることがあり、積み重なってしまいました。抱え込みすぎました。大変申し訳ございませんでした。おかげさまで少し落ち着きました。いつもご理解ご協力、そしてご支援賜ありがとうございます。

歴史の魅力あふれるこの街で、ひとひとの心のあたたまるふれあいが、新しい歴史を作る。この街に暮らし８年目、その情熱をさらにたやさぬよう、かつ自然体で、そのきっかけづくりを今後も志してまいります。至らぬ点も多々ありますが努力して参ります。今後とも宜しくお願い致します。

学力も大切、しかしその使い方の土台となる、心を育むことが一番大切と考えます。入会金無料期間継続。一緒に学ぶ仲間を募集しています！